

第3種郵便物認可

京

府

大規模災害へ備え

府内27団体ネットワーク

地震や風水害など大規模災害時に、京都府の要請を受けて医療や輸送、住宅の被害認定といった専門的な人的支援を行う二十七団体が六日、「府災害時応援協定ネットワーク会議」を設立した。従来は、府と各団体との間で災害時の応援協定を結んでいるだけだったが、相互に情報交換をしたり、役割分担を明確にすることを狙う。

府との応援協定もとに横のつながり

役割決め情報交換

ネットワーク会議は府が、災害時における自治防災室に事務局を置き、体と専門的な人的支援団体、一般ボランティアの研修などを行う。

参加団体は次の通り。

京都府上京区の府公館で開かれた設立会議で、小石原範和副知事は「地震や豪雨、感染症などの災害に備えて、平時から各団体と連携、協調を進めて地域の防災力を高めたい」とあいさつした。

各参加団体が、被災地と自治体との情報通信（日本アマチュア無線連盟府支部）、避難所での炊き出し指導（府栄養士会）など、それぞれが取り組める活動を紹介。災害時に派遣できる人材の登録を進めている府隊友会や、府警備業協会の取り組みも報告された。

また府の和田修防災監

府助産師会▽府看護協会▽府食品衛生協会▽府栄養士会▽府獣医師会▽京都市獣医師会▽府警察会▽府建築士会▽府建築設計事務所協会▽府漁業連合会▽日本アマチュア無線連盟府支部▽府医師会▽府薬剤師会▽府隊友会▽ジャパネスクネルクラブ▽日本レスキュー協会▽全国災害救助犬協会▽府警備業協会▽JAF京都支部▽府環境整備事業協同組合▽府産業廃棄物協会▽全国霊柩自動車協会▽府トラック協会▽府建設業協会▽府測量設計業協会▽府災害ボランティアセンター▽京都市災害ボランティアセンター

（石崎立矢）

災害時の役割分担などを話し合った府災害時応援協定ネットワーク会議（京都市上京区・府公館）

